2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	柔道整復スポーツ学科	科目区分	その他	授業の方法	講義演習
科目名	柔道整復スポーツ研究	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対象学年	2年生	学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎実習室およびPCルーム
担当教員	仲村 剛・澤卓実・林了大	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

興味のある分野・内容の先行研究を調べ近い内容でグループを作成し、最終発表を目標に計測およびデータの収集、発表資料の作成を行う。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　%
2. レポート:　%
3. グループワーク中の態度・発表:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器など

《授業外における学習方法》

各自で、研究対象となる論文を検索したり、雑誌を閲覧し、過去にどのような研究が、どのような方法で行われているかを知る。
また、統計処理も必要となるため、前期にて履修した情報科学を復習しておくことも必要である。

《履修に当たっての留意点》

社会的ニーズが激しく変化する現代においては専門技術はもとより主体性をもって事にあたり、創造力、応用力を持ち、自立して行動できる人材が求められている。つまりは論文を作成する目的は、ただ研究内容をまとめて発表するだけでなく、“自ら考え、行動し、そして、それを纏め上げる力”を養うことを目的としています。日々自己研鑽に励み職業人としての能力を養ってください。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究の意義の説明と具体例の掲示①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	研究の目的		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究の意義の説明と具体例の掲示②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	論文の構成		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	論文検索方法の習得と検索①	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	論文検索方法		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	論文検索方法の習得と検索②	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	論文検索方法		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	興味のある分野での論文の検索①	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	テーマに沿っての論文検索		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	興味のある分野での論文の検索②	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	テーマに沿っての論文検索		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定に使用できる機器の説明①	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	設置機器の使用方法		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定に使用できる機器の説明②	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	設置機器の使用方法		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文の検索を行い、テーマを選定する①	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	担当教員と確認しテーマ選定		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文の検索を行い、テーマを選定する②	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	担当教員と確認しテーマ選定		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用しての先行研究の検索①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	先行研究の検索		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用しての先行研究の検索②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	先行研究の検索		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用しての先行研究の検索③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プロトコールの作成		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用しての先行研究の検索④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プロトコールの作成		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	発表までを一緒に進めるグループを作成する①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループ内でプロトコールの検討		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	柔道整復スポーツ研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎実習室およびPCルーム
担 当 教 員	仲村 剛・澤卓実・林了大	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

興味のある分野・内容の先行研究を調べ近い内容でグループを作成し、最終発表を目標に計測およびデータの収集、発表資料の作成を行う。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　%
2. レポート:　%
3. グループワーク中の態度・発表:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器など

《授業外における学習方法》

各自で、研究対象となる論文を検索したり、雑誌を閲覧し、過去にどのような研究が、どのような方法で行われているかを知る。
また、統計処理も必要となるため、前期にて履修した情報科学を復習しておくことも必要である。

《履修に当たっての留意点》

社会的ニーズが激しく変化する現代においては専門技術はもとより主体性をもって事にあたり、創造力、応用力を持ち、自立して行動できる人材が求められている。つまりは論文を作成する目的は、ただ研究内容をまとめて発表するだけでなく、“自ら考え、行動し、そして、それを纏め上げる力”を養うことを目的としています。日々自己研鑽に励み職業人としての能力を養ってください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発表までを一緒に進めるグループを作成する②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループ内でプロトコールの検討		
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	テーマの決定①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの選定		
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	テーマの決定②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの選定		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用してのテーマに沿った先行研究の検索①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの先行研究検索		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用してのテーマに沿った先行研究の検索②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの先行研究検索		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用してのテーマに沿った先行研究の検索③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの先行研究検索		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用してのテーマに沿った先行研究の検索④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの先行研究検索		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定項目を決定と測定に使用する機器の測定方法の確認①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレプロトコールの作成		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定項目を決定と測定に使用する機器の測定方法の確認②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレプロトコールの作成		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループ内でのプレ測定の実施①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ実験の実施		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループ内でのプレ測定の実施②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ実験の実施		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プレ測定の結果を用いての中間発表①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ測定結果発表		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プレ測定の結果を用いての中間発表②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ測定結果発表		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループごとのプレ測定結果の中間発表③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ測定結果発表		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループごとのプレ測定結果の中間発表④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ測定結果発表		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	柔道整復スポーツ研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎実習室およびPCルーム
担 当 教 員	仲村 剛・澤卓実・林了大	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

興味のある分野・内容の先行研究を調べ近い内容でグループを作成し、最終発表を目標に計測およびデータの収集、発表資料の作成を行う。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　%
2. レポート:　%
3. グループワーク中の態度・発表:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器など

《授業外における学習方法》

各自で、研究対象となる論文を検索したり、雑誌を閲覧し、過去にどのような研究が、どのような方法で行われているかを知る。
また、統計処理も必要となるため、前期にて履修した情報科学を復習しておくことも必要である。

《履修に当たっての留意点》

社会的ニーズが激しく変化する現代においては専門技術はもとより主体性をもって事にあたり、創造力、応用力を持ち、自立して行動できる人材が求められている。つまりは論文を作成する目的は、ただ研究内容をまとめて発表するだけでなく、“自ら考え、行動し、そして、それを纏め上げる力”を養うことを目的としています。日々自己研鑽に励み職業人としての能力を養ってください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プレ測定結果からの測定方法および測定項目の再考①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに測定項目を含めたプロトコールの再考		
第32回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プレ測定結果からの測定方法および測定項目の再考②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに測定項目を含めたプロトコールの再考		
第33回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定対象・場所等の計画および確認①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに測定項目を含めたプロトコールの再考		
第34回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定対象・場所等の計画および確認②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに測定項目を含めたプロトコールの再考		
第35回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定		
第37回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定		
第38回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定		
第39回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う⑤	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定		
第40回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う⑥	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定		
第41回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータの集計を行う①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定結果集計処理		
第42回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータの集計を行う②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定結果集計処理		
第43回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータをもとに発表原稿の作成をおこなう①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれてのPPT作成		
第44回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータをもとに発表原稿の作成をおこなう②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれてのPPT作成		
第45回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータをもとに発表原稿の作成をおこなう③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれてのPPT作成		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	柔道整復スポーツ学科		科目区分	その他	授業の方法	講義演習
科目名	柔道整復スポーツ研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎実習室およびPCルーム
担当教員	仲村 剛・澤卓実・林了大	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

興味のある分野・内容の先行研究を調べ近い内容でグループを作成し、最終発表を目標に計測およびデータの収集、発表資料の作成を行う。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　%
2. レポート:　%
3. グループワーク中の態度・発表:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器など

《授業外における学習方法》

各自で、研究対象となる論文を検索したり、雑誌を閲覧し、過去にどのような研究が、どのような方法で行われているかを知る。
また、統計処理も必要となるため、前期にて履修した情報科学を復習しておくことも必要である。

《履修に当たっての留意点》

社会的ニーズが激しく変化する現代においては専門技術はもとより主体性をもって事にあたり、創造力、応用力を持ち、自立して行動できる人材が求められている。つまりは論文を作成する目的は、ただ研究内容をまとめて発表するだけでなく、“自ら考え、行動し、そして、それを纏め上げる力”を養うことを目的としています。日々自己研鑽に励み職業人としての能力を養ってください。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第46回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータをもとに発表原稿の作成をおこなう④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれてのPPT作成		
第47回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	現段階での進行状況の発表①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	担当教員に進捗状況報告		
第48回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	現段階での進行状況の発表②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	担当教員に進捗状況報告		
第49回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	中間発表データからの最終発表原稿への構成および追加測定の実施①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	担当教員による指摘された部分の修正する		
第50回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	中間発表データからの最終発表原稿への構成および追加測定の実施②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	担当教員による指摘された部分の修正する		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	中間発表データからの最終発表原稿への構成および追加測定の実施③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	担当教員による指摘された部分の修正する		
第52回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	中間発表データからの最終発表原稿への構成および追加測定の実施④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	担当教員による指摘された部分の修正する		
第53回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発表データの確認と資料の作成①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表用PPTの調整と論文作成		
第54回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発表データの確認と資料の作成②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表用PPTの調整と論文作成		
第55回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	公会堂での発表のためのリハーサル①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表用PPTの調整と論文作成および発表練習		
第56回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	公会堂での発表のためのリハーサル②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表用PPTの調整と論文作成および発表練習		
第57回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	公会堂での発表①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表本番		
第58回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	公会堂での発表②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表本番		
第59回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループごとに、作成および発表の振返りを行い、今後の継続テーマを考える。	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表後の振り返り、継続課題の検討。論文作成。		
第60回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループごとに、作成および発表の振返りを行い、今後の継続テーマを考える。	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表後の振り返り、継続課題の検討。論文作成。		